

# キイロコガシラミズムシ

*Haliphus eximius* Clark  
コウチュウ目・コガシラミズムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

1992年の敦賀市中池見での記録が県内で唯一であり、その後20年以上記録がない。今回は県内で広く調査が行われたが、本種の確認はできなかったことから、県域では絶滅の危険性が高まっていると判断した。

## 種の特徴

体長3.2～3.6mm。体背面は黄褐色。上翅には点刻以外に暗色の紋がない。水田や水生植物の多い湿地、池沼に生息し、幼虫はシャジクモ類より吸汁する。成虫は雑食性とされる。

## 分 布

本州～九州と与那国島に分布。県内では敦賀市中池見で1992年10月に2個体が採集されている以外に記録がない。

## 生息を脅かす要因

湿地の乾燥化や水田の放棄による草地化等が脅威となる。また、アメリカザリガニの侵入による環境の悪化も脅威になっていると考えられる。

参考文献 福井県自然保護課（1998）、環境省（2015）、上野ら（1985）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

# ルイスツブゲンゴロウ

*Laccophilus lewisius* Sharp  
コウチュウ目・ゲンゴロウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

県内では戦前に記録があるのみ。小型種であるが、今回精力的に水生昆虫の調査が行われたにも関わらず確認できなかったこと、近隣の石川県、富山県で減少していることを考慮し、本県でも絶滅の恐れが高まっていると判断した。

## 種の特徴

体長3.9～4.7mm。体型は逆卵形で幅広い。上翅は淡黄褐色～黄褐色で、6～7条の暗褐色～黒色の輪郭を持つ縦条が並列するが、不規則に断続、合着する。低地の池沼、湿地、放棄水田等に生息し、成虫は4～10月に確認されている。詳しい生態は不明である。

## 分 布

本州～九州。県内では旧芦原町内に戦前の記録があるのみ。

## 生息を脅かす要因

近年の生息記録が全くないため、生息の確認が急務である。本種の生息環境を考えると、開発による池沼、湿地の改変や消失、放棄水田の植生遷移、農薬等による水質汚染等が脅威となると考えられる。アメリカザリガニ等侵略的外来種の影響も懸念される。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、福井県自然環境保全調査研究会（1998）、環境省（2015）、森・北山（2002）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
													○				

# オオミズスマシ

*Dineutus orientalis* (Modeer)  
コウチュウ目・ミズスマシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

県内ではあわら市内に比較的最近の記録があるが、今回の調査では確認できなかった。これらの生息地には侵略的外来種が多くみられ、本種の生息環境は悪化していると考えられる。

## 種の特徴

体長7～12mm。体型は長楕円形で、上翅側縁後方に棘状突起を備える。背面は光沢のある黒色で、前胸背板や上翅側縁は黄色く縁どられる。河川の淀み、水田、池沼等に生息し、繁殖は主に池沼で行う。

## 分 布

北海道～沖縄県に分布。県内では、旧坂井町兵庫村、福井市、旧上志比村竹原、小浜市遠敷に古い記録があるほか、あわら市東山、北潟、福良池に比較的新しい記録がある。

## 生息を脅かす要因

ため池や河川の改修、農薬等による水質汚濁が本種の生存に影響を与えていると考えられる。最近の記録があるあわら市北潟、福良池ではアメリカザリガニやウシガエル等侵略的外来種が侵入しており、本種への影響が懸念される。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、福井県自然環境保全調査研究会（1998）、環境省（2015）、上野ら（1985）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○					○	○		○				○